

中央環境審議会大気・騒音振動部会（第 23 回）

議事要旨

■審議方法：書面審議

■議 題：自動車排出ガス総合対策小委員会の設置について

■参加委員：大原部会長、大塚委員、坂本(慎)委員、勢一委員、山神委員、浅利委員、荒木委員、大久保委員、上田委員、上野委員、江角委員、加藤委員、酒井委員、坂本(一)委員、新保委員、鈴木委員、津江委員、新田委員、日野委員、田熊委員、藤倉委員、古川委員、森川委員、森下委員、山崎委員、山野委員

■審議結果：1 月 21 日に各委員に開催通知を送付し、電子メールにて 26 名の委員より回答を得た。1 月 30 日に回答結果を部会長にご報告し、同日に自動車排出ガス総合対策小委員会を設置とする旨了承を得た。

■議事概要：下記のとおり。

中央環境審議会大気・騒音振動部会（第 23 回）議事概要
（議題：自動車排出ガス総合対策小委員会の設置について）

■回答結果

了承する : 26 名

了承しない : 0 名

■個別にいただいた御意見及びその対応

御意見	対応
<p>[新保委員]</p> <p>化学工業業界としては光化学オキシダント、PM2.5 の原因物質と言われている NOx、VOC の削減に努力している一方、社会全体での環境対策において、モビリティ業界での一層のご尽力は必要との認識です。</p>	<p>ご指摘の点も念頭においた上で、今後の自動車排出ガス総合対策について議論して参りたいと存じます。</p>
<p>[古川委員]</p> <p>自動車業界として、これまで排出ガス規制への技術対応と社会実装を進め、大気環境改善に対して一定の成果を上げまいりました。大気環境改善は社会的な責務でもあります、今後も在り方については御提案の「自動車排出ガス総合対策小委員会」をベースに技術的な進展と地域特性および実効性を踏まえた合理的な施策を考えていく必要があると考えます。</p>	
<p>[山崎委員]</p> <p>本小委員会の設置については了承いたします。</p> <p>その際、検討の実効性を確保する観点から、</p> <ul style="list-style-type: none">・実測・モデル双方に通じた専門家・車外騒音・大気汚染の統合的視点を有する委員・将来の規制・評価手法を見据えた技術的知見 <p>が適切に反映される委員構成とすることが望ましいと考えます。</p>	<p>ご指摘の点も念頭においた上で委員構成について検討致します。</p>